

平成 29 年 3 月 16 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号 03-5572-0233

秋田県「八橋油田随伴水処理実証プラント」の竣工式について

国際石油開発帝石株式会社（社長：北村俊昭。以下、「INPEX」）、千代田化工建設株式会社（副社長：中垣啓一。）、メタウォーター株式会社（社長：中村 靖。以下、「メタウォーター」）の 3 社（以下、「受託 3 社」）は、本日、八橋油田随伴水処理実証プラント（秋田県。以下、「本実証プラント」）の竣工式を執り行いましたので、お知らせいたします。

本件は、受託 3 社が 2015 年 7 月に独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構の技術ソリューション事業（技術開発・実証プロセス）（フェーズ 2）として「セラミック膜による随伴水処理技術の小規模実証試験」（以下、「国内実証」）に関する作業を受託し実施しているもので、本実証プラントは、INPEX 秋田鉱場外旭川プラント内及び隣接地（秋田県）に建設され、メタウォーターのセラミック膜ろ過システムを用いて油田の随伴水を処理する技術を実証するための小規模実証試験設備です。

本実証プラントは、2016 年 8 月に建設が着工され、本年 1 月に完工し、試運転を経て 3 月より実証試験（約 7 ヶ月を予定）を開始しております。



今後、受託 3 社は、このセラミック膜を用いた随伴水処理技術を確立させ、原油生産における経済性の向上、油田の延命化並びに環境負荷軽減につなげることを目指し、環境に配慮したエネルギーの安定的かつ効率的な供給に貢献すべく、「国内実証」に鋭意取り組んでまいります。

記

【本実証プラントの概要】

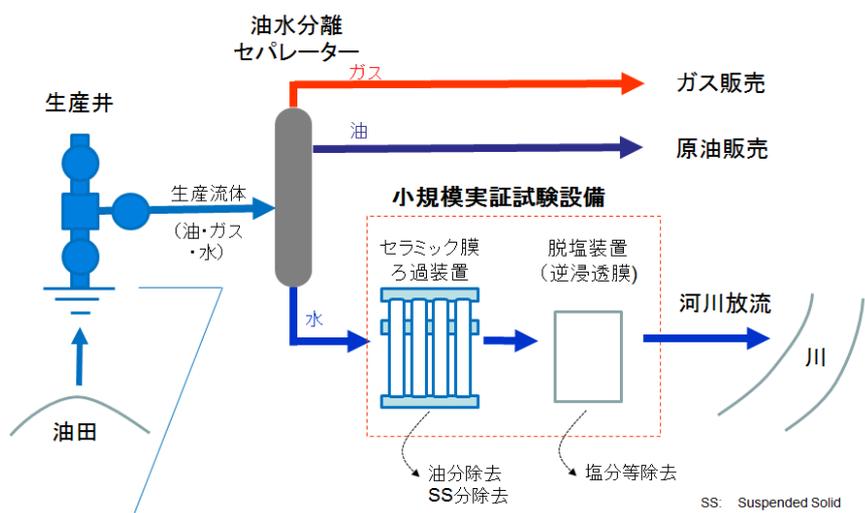
プラント名： 八橋油田随伴水処理実証プラント

主要設備： メタウォーターのセラミック膜ろ過装置、脱塩装置他

プラント処理能力： 日量 150 キロリットル

使用する水： 八橋油田の随伴水

処理水性状： 秋田県における河川放流基準を満たすことを目標とする



実証試験フロー図



セラミック膜ろ過装置

以上